

自主企画『2020年夏季オリンピック・パラリンピック 東京開催決定！ 緊急意識調査』

56年ぶりの東京五輪開催、86.7%が歓迎！

78.5%が「招致活動を評価する」と回答

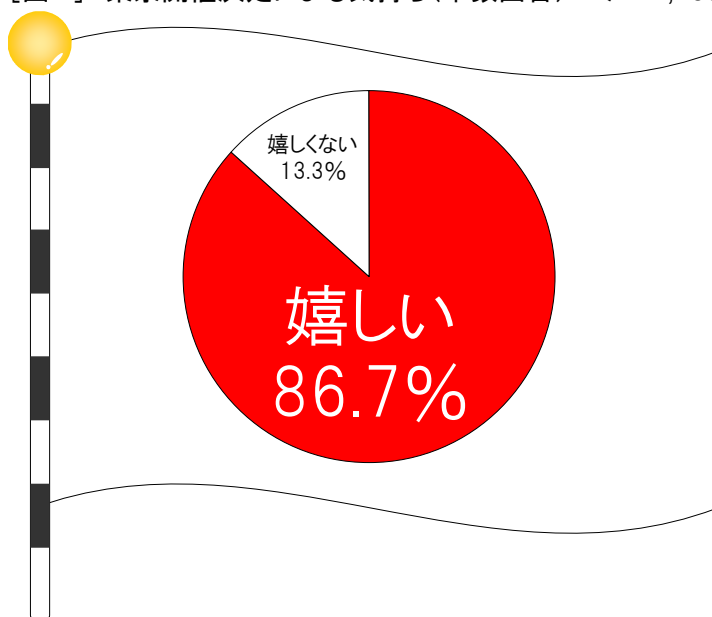
株式会社インテージ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:宮首 賢治)は、『2020年夏季オリンピック・パラリンピック 東京開催決定に関する意識調査』を実施しました。本調査は、2013年9月9日10時~13時、NTTドコモのプレミアクラブ会員のうち15~69歳の1,200名(京浜/東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県、京阪神/大阪府・京都府・滋賀県・兵庫県・奈良県・和歌山県)を対象としてスマートフォンによるインターネット調査を行い、結果をまとめました。

調査結果

1. 86.7%が東京開催決定を歓迎

図1は、2020年夏季オリンピック・パラリンピックの開催地が東京に決定したことについて、「嬉しい」「嬉しくない」を聞いた結果である。86.7%の人が東京に決定して「嬉しい」と回答している。

[図1] 東京開催決定による気持ち(単数回答) <N=1,200>



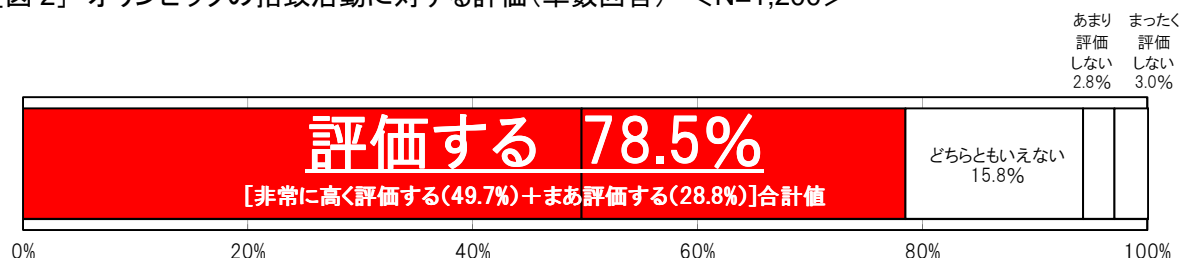
- 嬉しいと感じる理由(自由回答)
- ・オリンピックが生で見られるかもしれないから(18歳女性)
 - ・景気回復に必ず繋がると思う(47歳男性)
 - ・雇用や消費が増え景気が上向く材料になると思う(43歳女性)
 - ・時差がなく観戦できるから(28歳男性)
 - ・世界中のトップアスリートが集まるのはスゴい!(43歳女性)
 - ・人生で2度、見られるとは思っていなかった(60歳女性)
 - ・子ども達に夢を与えられる(42歳女性)
 - ・日本が元気になれる(53歳男性)
 - ・日本の景気回復と復興の原動力になるから(19歳男性)
 - ・スポーツ好きだが、海外だとなかなか行けない(34歳男性)
 - ・震災復興が急速に進むような気がする(64歳男性)
 - ・仕事が増えそうだから(52歳男性)

- 嬉しくないと感じる理由(自由回答)
- ・原発の問題、災害の復興などやるべき問題が沢山ある(65歳女性)
 - ・オリンピックを優先し災害復興が後回しにならないかが心配(61歳男性)
 - ・東京の開発だけが優先されるようになってしまう(40歳男性)
 - ・治安が悪くなりそう(16歳男性)
 - ・景気が良くなるのか分からない(19歳女性)

2. 78.5%の人が招致活動を評価すると回答

図2は、オリンピックの招致活動に対する評価を聞いた結果である。「非常に高く評価する」「まあ評価する」と回答した合計は78.5%となった。

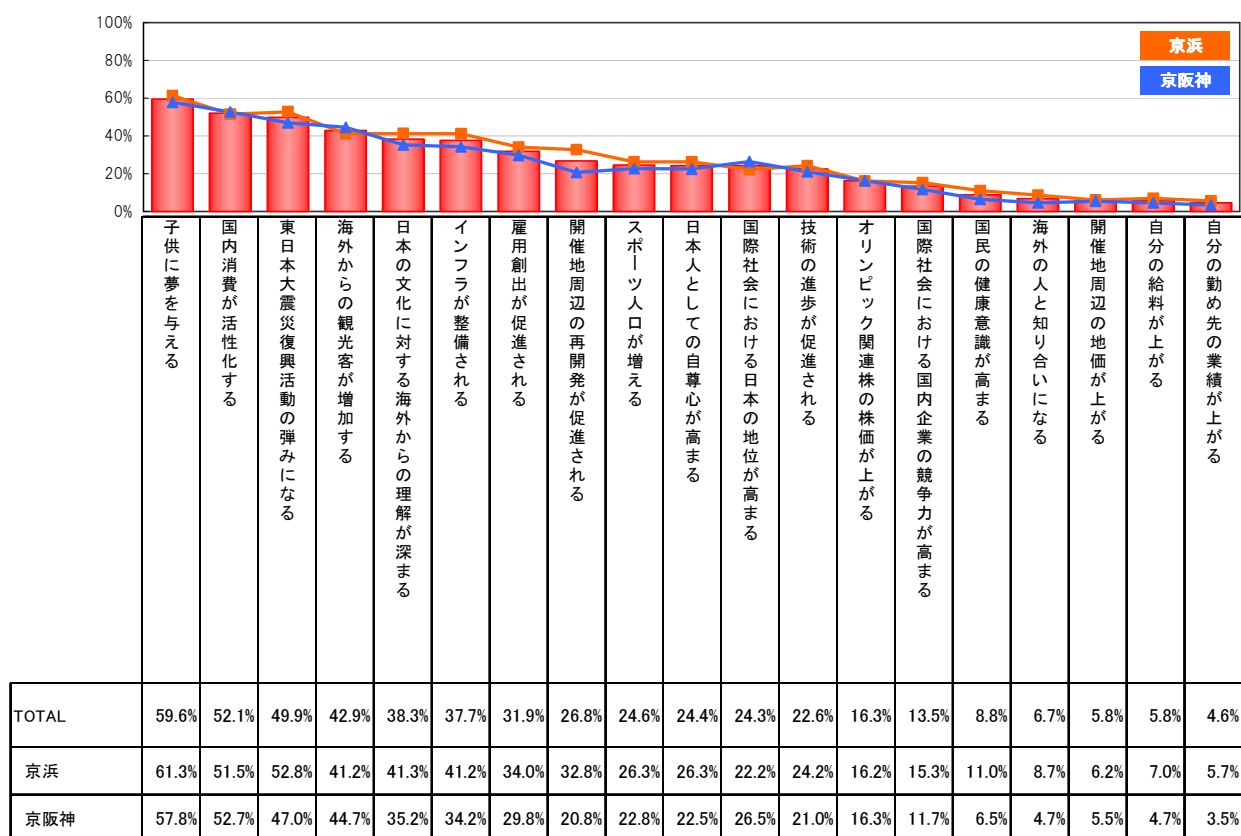
[図2] オリンピックの招致活動に対する評価(単数回答) <N=1,200>



3. 「子供に夢」「国内消費の活性化」「震災復興活動の弾み」に期待

図3は、オリンピックの東京開催に伴い期待することを聞いた結果である。「子供に夢を与える」が59.6%でトップ。「国内消費の活性化」(52.1%)が続く。また、「東日本大震災復興活動の弾み」にも半数近くの期待が寄せられている。

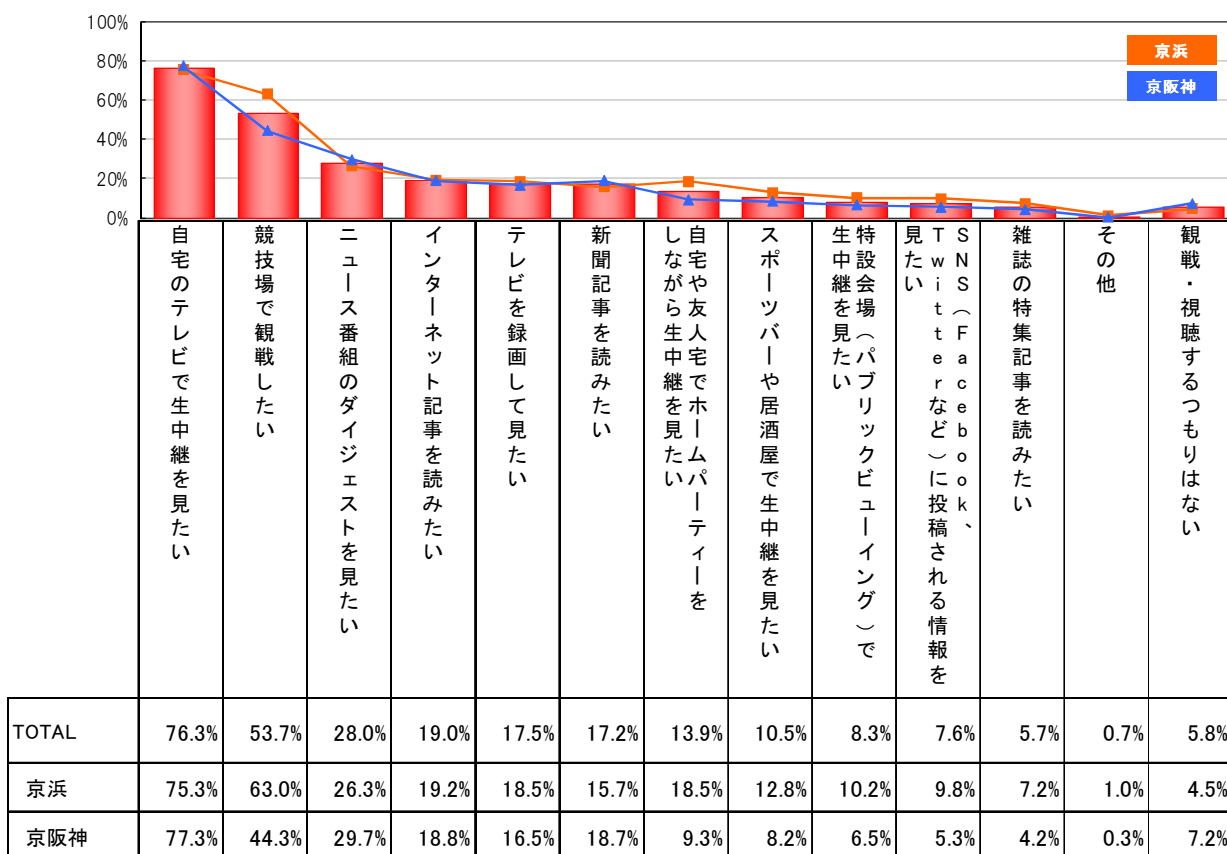
[図3] 東京開催決定に伴い期待すること(複数回答) <N=1,200 / 京浜=600 京阪神=600>



4. 半数を超える人が「競技場で観戦したい」と回答

図4は、観戦・視聴方法を聞いた結果である。「テレビで生中継を見たい」がトップで76.3%。53.7%の人が「競技場で観戦したい」と回答。特に京浜在住者では63.0%が直接競技場で観戦したいと答えている。

[図4] 観戦・視聴方法(複数回答) <N=1,200 / 京浜=600 京阪神=600>



5. 注目競技は「水泳」、やってみたい競技は「テニス」

図5は、2020年のオリンピックで開催される28競技について、「注目している競技」と「自身でやってみたい競技」を聞いた結果である。注目している競技のトップは「水泳」で58.8%。競技に残留が決まった「レスリング」はサッカーに続いて注目度5位に食い込む。やってみたい競技は「テニス」がトップ。

[図5] 注目している競技・自身でやってみたい競技(複数回答) <N=1,200>

注目している競技				
1位	2位	3位	4位	5位
水泳	体操	陸上競技	サッカー	レスリング
58.8%	48.4%	45.1%	41.5%	37.4%

やってみたい競技				
1位	2位	3位	4位	5位
テニス	ゴルフ	水泳	アーチェリー	バドミントン
16.2%	15.8%	15.3%	12.2%	11.1%

調査概要

調査方法：インターネット調査(スマートフォンを使用)

調査地域：京浜(東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県)

京阪神(大阪府・京都府・滋賀県・兵庫県・奈良県・和歌山県)

調査対象者：NTTドコモのプレミアクラブ会員のうち、ドコモ・インサイトマーケティングのアンケートに協力の
許諾を得た 15～69 歳の一般男女 1,200 名

サンプル構成：

		男性						女性					
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	10代	20代	30代	40代	50代	60代
TOTAL	1,200	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
京浜	600	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
京阪神	600	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50

調査期間：2013 年 9 月 9 日 10 時～13 時

調査実施機関：株式会社インテージ

【株式会社インテージ】 <http://www.intage.co.jp/>

株式会社インテージ(市場名：東証 1 部・4326、本社：東京都千代田区、設立年月日：1960 年 3 月 2 日、代表取締役社長：宮首 賢治)は、インテージグループ各社とともに、リサーチノウハウ、データ解析力、システム化技術と、これらに基づく情報評価力をコア・コンピタンスとして、経営およびマーケティング上の意思決定に役立つ情報(Intelligence)を提供。国内マーケティングリサーチのパイオニアとして、お客様のビジネスの成功に貢献してまいります。

【株式会社ドコモ・インサイトマーケティング】 <http://www.dcm-im.com/>

株式会社ドコモ・インサイトマーケティング(本社：東京都港区、設立年月日：2012 年 4 月 2 日、代表取締役社長：村上清幸)は、主にリサーチ事業およびマーケティング支援事業を展開し、スマートフォン等のモバイル端末の即時性を活用したリアルタイムなネットリサーチや、取得した多様な情報をもとにしたリサーチ等を提供しています。NTT ドコモのプレミアクラブ会員約 5,000 万人をベースとした顧客基盤と、インテージの情報活用ノウハウの融合により、メーカー・小売業等の企業が行うマーケティング活動を支援し、圧倒的な規模と品質を備えたサービスを、生活者と企業に提供してまいります。

【この件に関するお問い合わせ先】

■株式会社インテージ 広報担当

担当：小関(おぜき)／佐藤(さとう)

TEL: 03-5294-6000 FAX: 03-5294-8318

サイト「お問い合わせフォーム」

<http://www.intage.co.jp/contact/>